

ポジティブ生活文化交流祭

「被災障害者⇔関西ポジティブ生活文化交流祭」とは

阪神淡路大震災から東日本大震災を経て、関西発の被災障害者救援活動はこれまで全国各地の人たちとつながり、連携しながら取り組んできました。

東日本大震災を風化させない。これまでの自然災害で障害当事者をはじめ事情を抱えて暮らしている人たちがいざという時に取り残される。そのことを忘れないでほしい。こんな思いと災害支援、防災に意識ある方や障害当事者、地域福祉にかかわる人たちが交わる場をとということできつと続けてきました。

今年も長居公園にみんなが集まり、おしゃべりや飲食を楽しむ

昨年2022年は感染拡大への社会活動の制限が緩和されていく経過の中で、3年ぶりに長居公園での実施をしました。今年も長居公園で。昨年度からの名称「被災障害者⇔関西ポジティブ生活文化交流祭」として開催いたします。

今年は大阪プロレスの大会も会場内で行われます。

人と人が出会う活気というものが今度どんな形で進展するのか。

当日来場されたみなさんと年に一度、一堂に集まり、おしゃべりする。

今年もどんな出会いがあるのか。

ご来場お待ちしております。

これまでもこれからも双方向に。いざというときに知ってる人とも見知らぬ人ともつながっていくためには。



ステージ

ステージはいつもフラット。地べたで歌います、踊ります。開会式では被災地からのゲストのメッセージがあります。毎年、若さとエネルギーを振りまいてくれる事業所のメンバーさんたち。間々にプロレスの試合が入りながら、フィナーレはいつものバンドやあの人たちの歌声に乗ってみんなで締め括りが出来たらと思います。



出展

関西の障害者団体や有志50団体が出展。作業所の商品だけではなく、学園祭のような感じでチャレンジしたいろんな出展物を来場されたみなさんに味わっていただきながら、新たな出会いや久々の再会を楽しんでください。



豊能障害者労働センターのチャリティーバザーの売り上げはすべてゆめ風基金の被災障害者救援活動に寄付されます。

